

I. 広東省

1. 胡春華・省党書記が陽江市を視察

●19日～20日、胡春華・省党書記が陽江市を視察し、省党第12回代表大会の手配をしっかりと実行しなければならないと強調。胡書記はハイテクエリアのイノベーション交流センター、三峡新エネルギープロジェクト、陽江港埠頭等を訪れ、関連部門の責任者と踏み込んだ意見交換を行い、同市の交通インフラ建設、産業の共同建設プロジェクトと都市新区建設の進捗状況について理解を深め、その新たな成果を評価した（8月21日付『南方日報』）。

2. 省東西北部協調発展及び産業の共同建設に関する現場会議の開催

●21日、汕尾市で馬興瑞・省長主宰の上記会議が開催され、省東西北部の発展状況を点検し、産業の共同建設の経験について意見交換を行い、胡春華・省党書記が出席するとともに講話を行なった（8月22日付『南方日報』）。

3. 各民主党派の新旧メンバーによる座談会の開催

●22日、上記座談会が開催され、胡春華・省党書記が出席するとともに講話を行い、政治的なつながりを深めながら、民主党派の建設を強化していくよう強調（8月23日付『南方日報』）。

4. 胡春華・省党書記がシンガポールの賓客と会談

●22日午後、胡春華・省党書記がシンガポール・広東協力理事会第8回会議に出席するため広東省と訪れた王乙康・シンガポール教育相と会談し、次のように述べた。双方は「一帯一路」建設への参加を契機に、同理事会のプラットフォームの役割を十分に発揮し、中国・シンガポール知識城等の重要な協力プロジェクトを実務的に推進し、経済・貿易、イノベーション、人と文化、教育等の分野における協力を拡大し、手を携えてASEAN市場を開拓し、協力・発展水準を絶えず高めていきたい（8月23日付『南方日報』）。

●22日、馬興瑞・省長、王乙康・シンガポール教育相がシンガポール・広東協力理事会第8回会議を開催するとともに挨拶を行なった。会議では双方が中国・シンガポール（広東）知識城の建設、国有企業改革、教育における協力等をめぐって、十分な意見交換を行なった（8月23日付『南方日報』）。

5. 省長・外資系医薬リーディングカンパニーCEO円卓会議の開催

●22日午後、馬興瑞・省長が上記会議を主宰し、外資系医薬企業の広東省における発展計画と意見・提案について聴取し、関連プロジェクトの誘致を推進し、同省の医薬産業のイノベーション発展を促進した（8月23日付『南方日報』）。

6. 省国防科学技術工業・軍民融合協会が設立

●23日、広州無線集団、工業・情報化部電子第5研究所、中国電子科技集団第7研究所、広船国際、中山大学等20の企業・研究機関・大学が省国防科学技術工業・軍民融合協会のプレート除幕式を行うとともに、第1回代表大会を開催し、第1期理事会・監事会の選挙を実施（8月24日付『南方日報』）。

7. 旭硝子による広東省・恵州市の重要プロジェクトが着工

●24日、恵州市で省と恵州市の重要プロジェクトである旭硝子第8.5世代パネルガラス・マスプロならびに第11世代パネルガラス・プロジェクトの着工式が行われた。同プロジェクトはフラットパネルディスプレイ産業の最先端に位置し、恵州市の同産業チェーンを広げ、同市の第1支柱産業である電子・情報産業を5000億元規模に乗せるのを後押しするものである（8月25日付『南方日報』）。

8. 省党常務委員会議の開催

●25日、胡春華・省党書記主宰の上記会議で、珠江西岸先進設備製造産業ベルトの進捗状況について聴取（8月26日付『南方日報』）。

※広東省では珠江西岸先進設備製造産業ベルトを「中国製造2025」のモデル地区と位置づけている。

9. 国土資源部、省政府、CNP Cが戦略的提携

●先頃、北京市で国土資源部、省政府、中国石油天然ガス集団（CNP C）が「南シナ海神狐海域におけるメタンハイドレート探査・採掘を推進するための先導試験区の建設に関する戦略的協力協定」に署名。胡春華・省党書記、姜大明・国土資源部長、馬興瑞・省長、王宜林CNP C董事長が署名式に出席（8月26日付『南方日報』）。

10. 全省金融業務会議の開催

●26日午前、胡春華・省党書記主宰の上記会議で全省金融業務会議の精神、特に習近平・総書記の重要講話の精神を真剣に貫徹・実行し、中央の手配・要求に基づき、金融リスクを積極的に防止・解決し、金融改革・発展を安定的に推進し、金融が実体経済に奉仕する水準を高め、地方における金融監督管理の責任を担い、広東省の金融業が安定的かつ健康的に発展することを確保しなければならない。馬興瑞・省長が業務を手配。任学鋒・広州市党書記、王偉中・深圳市党書記、慎海雄・省宣伝部長、江凌・省党秘書長、李春生・副省長、袁宝成・副省長、陳雲賢・省党組織メンバー等が出席（8月27日付『南方日報』）。

II. 広州市

1. 広州友好代表団がカザフスタンを訪問

●16日～18日、劉悅倫・市政協主席率いる広州友好代表団がカザフスタンを訪問し、アスタナ市長を表敬。双方は広州市とアスタナ市の政府高官による相互訪問の強化、貿易・投資の推進等について意見交換を行なった。また、同代表団は中国（広州）・カザフスタン（アスタナ）産業・投資交流会、2017アスタナ世界博覧会広東イベント・ウィークの開闭幕式にも出席（8月21日付『広州日報』）。

2. 米コールド・スプリング・ハーバー研究所の誘致に成功

●16日、周亜偉・黄埔区党書記兼広州開発区管理委員会主任率いる誘致チームが米NYのコールド・スプリング・ハーバー研究所を訪問し、ブルース・スティルマン同研究所CEOと踏み込んだ商談を行い、ただちに同研究所と広州開発区管理委員会が全面的協力覚書に署名した。同覚書の協力枠組みの下、双方はコールド・スプリング・ハーバー（広州）研究所、科学技術の産業化センターを共に構築していくこととなった（8月21日付『広州日報』）。

※コールド・スプリング・ハーバー研究所：分子生物学、医学の研究・教育で最先端の研究所で、ノーベル賞受賞者も輩出。

3. シンガポール国際製造イノベーションセンターの誘致に成功

●21日、広州知識城で、シンガポール国際企業発展局とアセンダス・シンプリッジ集団が共同で構築するシンガポール国際製造イノベーションセンター（SMIC）のプレート除幕式が行われた（8月22日付『広州日報』）。

●23日、任学鋒・市党書記が王乙康・シンガポール教育相一行と会談（8月24日付『広州日報』）。

4. 任学鋒・市党書記が廖長城・香港科技大学董事会主席一行と会談

●24日、上記会談で任学鋒・市党書記は次のように述べた。双方は南沙区の開発・建設を媒介にして、広州の産業発展に立脚し、協力モデルを刷新し、協力のレベルを高め、広東・香港・マカオ・ベイエリアという協力を深めたモデル地区を構築していきたい（8月25日付『広州日報』）。

5. チャイナユニコムIoT（モノのインターネット）エコ大会の開催

●25日、上記大会が開催され、任学鋒・市党書記が王晓初・チャイナユニコム董事長等、一部の来賓と懇談を行なった。袁宝成・副省長、温国輝・市長、王晓初・董事長、陳立東・工業・情報化部通信發展司副司長がテーマ大会に出席するとともに挨拶。広州市は「中国製造2025」、「インターネット・プラス」といった国家政策とのビジネス・マッチングを積極的に推進し、ハブ型ネットワークシティを構築していく（8月26日付『広州日報』）。

6. 広州金融リスク防止・監督・コントロールセンターが設立

●25日、上記センターのプレート除幕式が行われた。同センターの設立は全国の地方政府レベルでは初となる（8月26日付『広州日報』）。

Ⅲ. 深圳市

1. 第6期市党委員会第7回全体会議の開催

●24日午後、上記会議が開催され、王偉中・市党書記が市党委員会を代表し、業務報告を行なった。同会議では本年のこれまでの業務を総括し、次の重要任務を手配（8月25日付『深圳特区報』）。

2. 市政府常務会議の開催

●24日午前、陳如桂・市長主宰の上記会議で「新たな情勢下において知的財産権の保護を更に強化するための深圳市の業務プラン」について審議し採択。深圳市は最も厳格な知的財産権の保護制度を率先して構築し、イノベーションを鼓舞し、守るための良い環境を全面的に作っていく（8月25日付『深圳特区報』）。

●25日午前、陳如桂・市長主宰の上記会議で第6期市党委員会第7回全体会議の精神を伝達・貫徹し、政治を重んじ、着実に実行し、実際的な効果を追求し、本年の目標・任務の達成を確保するよう強調（8月26日付『深圳特区報』）。